

令和2年度 第2回 防府市地域福祉推進協議会  
会議結果 [要旨等](#)

日 時	令和2年10月2日（金） 午前10時00分～午前11時40分
場 所	防府市文化福社会館 3階4号大会議室
出席者	<b>【委員】</b> 草平委員、長谷川委員、石田委員、内田委員、山崎委員、齊藤委員、 佐甲委員、松永委員、池永委員、椎木委員、中村委員、山野委員、湯面委員、 廣森委員、山本委員、大下委員 （欠席：松村委員、河田委員、西田秀樹委員、西田弘江委員） <b>【行政等】</b> 防府市健康福祉部長 防府市社会福祉協議会常務理事 <b>【事務局】</b> 防府市社会福祉課、防府市社会福祉協議会
傍聴者	なし

※ 以下、会議結果については、発言等の要旨のみを簡略化しています。

## 1 開 会

「防府市自治基本条例」及び「防府市審議会等の設置及び運営に関する要綱」に基づき、「公開」することを承認。

## 2 あいさつ

### <市健康福祉部長あいさつ>

前回、7月31日の第1回協議会では、第二次計画の取組状況の確認と、第三次計画に対する「座談会」や「アンケート調査」の結果を示し、計画の中間素案について御協議いただいた。

今回の第2回協議会では、前回、委員の皆様いただいた御意見や庁内関係各課との協議を基に修正を加えた計画書の2回目の中間素案について、意見を伺いたい。

また、第三次計画を取り組んでいく際の「実施目標計画」について、御協議いただきたい。

## 3 議題

### (1) 第三次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画の中間素案（2回目）について

#### <事務局（社会福祉課、社会福祉協議会）説明>

～【資料3】「令和2年度防府市地域福祉推進協議会 第1回会議」での意見 説明～

#### <委員 A>

自治会の加入率が減ってきており、福祉の財源自体がなくなってしまうのではないかと危惧している。対応策としては、福祉目的のふるさと納税、あるいは、テーマ型の共同募金。今防府もふるさと納税を受け付けているので記載する必要があるのではないかと。ボランティアを組織してもらうための研修などの費用にあててもらおうと、共同募金などがなくても、財源の見込みがつくと思う。

#### <事務局（社会福祉課）>

ふるさと納税については、事業建てや制度設計が必要で、担当部署との調整が必要になる。すぐ対応が難しく、今回の計画には、間に合わないかもしれないが検討していきたい。

#### <議 長>

A 委員さんから意見としては、自治会加入率が非常に思った以上に低くなってきており、これまでの財源の徴収方法では難しい。福祉に賛同する方を新たに開発していかなければならないのではないかという趣旨であり、そのあたりを踏まえながらすすめていきたい。実際、共同募金でいうと、他県では、従来の世帯からの募金よりもテーマ型募金のほうを重視するというのが出ている様子で、山口県でも、県全体では、テーマ型募金の数が1.5倍くらい伸びている。ふるさと納税の方は、公的な資金集めであるため厳しく、計画的に数年起こして、設計しなければならないというのがあるかと思う。ふるさと納税に関しては、福祉が主管する部分ではないが、関係部局との連携を踏まえて今後検討していただきたい。

#### <事務局（社会福祉課）説明>

～【資料1】第三次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画（中間素案） 説明

～【資料2】第三次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画「実施目標計画」一覧（案）

#### <委員 B>

実施目標（4）住宅確保要配慮者への支援にかかる連携で、山口県では居住支援協議会が設置されていて、市町はこれに関与されていると思うが、市としての居住支援協議会、県との連携について今後取り組んでいく予定があるのか。

<事務局（社会福祉課）>

住宅確保要配慮者への支援にかかる連携については、県が中心の制度であるが、市の方にも協議会を設置してはどうかという意見があったと聞いている。ただ、今後についてはまだ未定である。」と聞いている。今後どうなるかは計画には記載できないが、大事な制度であり啓発は必要であるため記載している

<委員 B>

これからだと思うが、市単位で作っていくべきだと思っている。人口規模から言えば、早くても良いと思うので、少し詰めてもらいたい。決まっていることがあれば、可能な限り記載していただきたい。

<委員 B>

P59の包括的支援体制の整備とリンクするところであり、保育関係(子育て支援センターや母子保健等)の連携についても虐待防止に入るため書き方を工夫してみてもどうか。P73の権利擁護も防府市成年後見センターを中核機関とする連携体制が書かれている。

<事務局（社会福祉課）>

既存の第二次計画をベースに追記をしている。虐待関係については、実状は子ども相談室や女性相談員が連携しているが、成年後見のような中核拠点を設けるところまでいっていない。

<A 委員>

活動目標5安全安心を守る活動の推進で、資料76ページに避難行動要支援者の避難支援等の体制づくりについては、自治会が支援することになっているが、災害時に情報を公開するという市の方向性がある。ただ、災害時の前段階である程度きちんとそれぞれ地区で対応できるようにしておかないといけない。それぞれの自治会に一旦公開をして、情報自体を正確なものにしていく事が、必要ではないかと思う。

また、81ページ地域での連携の促進で、「自治会は住民に幅広い地域活動への参加を促すとともに、開かれた組織運営に努めます」とあるが、自治会としては地域の活動団体、地区社協・地区社会福祉協議会、地域包括支援センターなどその他の団体と常に協力をして連携をしながら活動しているので、そういった表現に変えた方がよいと思う。より具体的に書かないと、開かれた組織運営というとクローズされた組織なのかというとらえ方をされかねない。

<事務局（社会福祉課）>

2点目の文言については、検討し、次回お示しする。

1点目の要配慮者の名簿については、実際にはそのようにしたいところもあるが、制度上個人情報があるため、自治会と協定を結び、データを事前に渡すというのが現状。今ここで回答できないため、状況を担当課に伝える。

<C 委員>

避難行動要支援者名簿の扱いは非常に難しい。全般的にこの活動計画での個人情報の扱いは非常にデリケートな問題だと思うが、自治会が受け取った名簿の中に自治会員でない方がいたときに自治会として責任をどのようにとるか、市や自治連で一つの方向性を決めておくことを検討いただきたい。

<D 委員>

83 ページ、支え合いのネットワークの実施目標が、ほかの目標の項目と見比べると、イメージがしづらいつ感じる。地域の人が見た時にイメージがしにくいと思う。

また、計画に書くということではないが、包括支援体制のところ、相談支援包括化推進員の配置も検討されるということで、非常に大切なことだと思う。併せて、コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの記述が63ページにあり、このコミュニティ・ソーシャル・ワーカーの存在はとても大事だと思っている。

来年度からは国の重層的な支援体制の中で、参加支援のメニューがあったと思うが、参加支援や社会資源の対策、新しい仕組みづくりは、とても大事なところで、コミュニティ・ソーシャル・ワーカーやそういった機能を持っている方がしっかりついて、じっくりやっていると、地域の中での解決していく仕組みづくりにならないと思う。地域福祉計画からのより一層の体制強化をしていただきたい。

<事務局（社会福祉課）>

83 ページについては、実施目標が社会福祉協議会の基盤強化で、目標計画は、基盤強化できるように計画に基づいた活動を人材育成しながらやっていくことだが、あらためて表現を検討する。

2 点目のコミュニティ・ソーシャル・ワーカーと生活支援コーディネーターと相談支援包括化推進員について、コミュニティ・ソーシャル・ワーカーは社協の中に配置されており、実際には色々な関係機関とのコーディネートがされている。それとは別に生活支援コーディネーターは地域包括支援センターに 4 人配置している。そういったところとの連携が今後必要になる。その際に、生活困窮者自立支援制度が色々な縦割りの事業に横串を刺すという形でやっていく。そういった調整と併せて包括化推進員の配置も検討していきたい。

<議長>

アンケートや座談会をすると、生活上の交通の問題や、先程あった住宅の問題など福祉以外の他部署で行われる部分については、別建てで検討されるということで、地域福祉計画に書き込むのではなくて、例えば生活支援は、先程事務局が言われたように、横串を刺していかないといけないが、買い物難民の問題とか、移動の難しい方々、住居に困っている方々については、主に別のものがあると考えてよいか。

<事務局（社会福祉課）>

今、会長がいわれたように、課によって事業建てをおり、市役所全体で横串を刺すということは難しいところがあるが、地域福祉自体は色々な部署の関係をここである程度整理していくとなる。理想は全部できれば良いと思うが、実際そこまで出来ていないというのが実情である。

<議長>

この分野の計画を踏まえた計画と、生活上の問題というのは、この中で反映されないのは別のところで検討されるということでよろしいか。

<事務局（社会福祉課）>

この中で出た意見は担当の部署に伝えていくといった連携はしていく。

## (2) その他

<社会福祉協議会常務理事あいさつ>

皆様、時間が制約された中で貴重なご意見、ご提案をいただき、大変な有意義な協議ができたことを感謝申し上げます。皆様からのご意見を参考とさせていただき、計画の策定を行いたい。また、新たな課題にもしっかりと対応していく。

本日は、誠にありがとうございました。